

未来の子どもの学びを考える小学生とその親のためのワークショップ

「iPad de トマト!?!」 2012年1月15日に開催

柏の葉アーバンデザインセンターにて／最先端ロボットも登場！

東京大学先端科学技術研究センター人間支援工学分野アグリケーション・ラボ（代表：中邑賢龍・東京大学教授）は、iPadを活用した農業体験を通して子どもの科学的思考力を養う農業塾「アグリケーション塾」を今春に開講する予定ですが、この開講に先立ち、2012年1月15日にキックオフ・イベントとして、子どもの未来の学びを考えるワークショップ「iPad de トマト!?!」を開催します。

当日の講師は、iPadや身近なテクノロジーを活用した教育の研究者である中邑賢龍・東京大学教授、「エボルタくん」などのロボットクリエイターである高橋智隆・東京大学特任准教授、「カドケシ」のデザイナーとして知られる神原秀夫・東京大学特任研究員が務めます。最先端ロボットのデモンストレーションや、「ロボットの動きをiPadで観察してみよう」「微生物の活動を体験しよう」などの活動を通じて、子どもの独創性を切り開くイベントとなります。

「iPad de トマト!?!」開催概要

- 日 時： 2012年1月15日（日） 14:00～16:00（開場 13:45）
- 会 場： 柏の葉アーバンデザインセンター
（つくばエクスプレス「柏の葉キャンパス」駅東口 徒歩1分）
- プログラム： 1. 「Agriculture × Education ～未来の子どもの農業から育てる～」
講師：中邑 賢龍（東京大学 先端科学技術研究センター 教授）
2. 「ロボットともものづくり体験」（講演と最新ロボットのデモンストレーション）
講師：高橋 智隆（東京大学 先端科学技術研究センター 特任准教授）
3. 「未来の農キッズデザイン」
講師：神原 秀夫（東京大学 先端科学技術研究センター 特任研究員）
- 参加方法： Eメールにて申込
（代表者氏名・参加人数・電話番号を明記、宛先は agc@at2ed.jp）
先着 100名、参加無料
- 対 象： 小学生とその保護者
（保護者のみの参加も可）
- 主 催： 東京大学先端科学技術研究センター
人間支援工学分野
アグリケーション・ラボ
- U R L： <http://blog.agrication.jp/>



ワークショップの開催イメージ

講師紹介



■ 中邑 賢龍：東京大学 教授

広島大学大学院博士課程単位取得退学。香川大学助教授、カンザス大学客員研究員などを経て東京大学先端科学技術研究センター教授。テクノロジーで誰もが暮らしやすい社会の構築を学際的に研究している。



■ 高橋 智隆：ロボットクリエイター

京都大学工学部卒業。代表作に「ロピッド」「エボルタ」「FT」「クロイノ」など。ロボカップ世界大会5年連続優勝。米TIME誌「2004年の発明」、ポピュラーサイエンス誌「未来を変える33人」に選定。エボルタ・チャレンジでギネス世界記録認定。(株)ロボ・ガレージ代表取締役、東京大学先端科学技術研究センター特任准教授。



■ 神原 秀夫：プロダクトデザイナー

東京造形大学卒業後、TOTO、電通を経てフリーランス。プロダクトに加え、グラフィックやインテリアなど幅広いデザイン領域で活動を展開。ニューヨーク近代美術館(MoMA)の永久収蔵品やD&AD賞、グッドデザイン賞など受賞多数。東京大学先端科学技術研究センター特任研究員。

「アグリケーション塾」とは

「アグリケーション塾」は、アグリカルチャーとエデュケーションを組み合わせた小学生向けの農業塾として、今春の開講を目指し現在プログラム開発等の準備を進めています。「アグリケーション塾」では、iPadと畑が教科書やノートになります。野菜を育てる過程で、iPadを使った専門家への相談、カメラによる記録、高齢指導者とのコミュニケーションを盛り込み、子どもの新しい可能性を引き出していきます。

近年、子どもにとって農業が遠い仕事になっています。しかし、農業は、机の上では学べない自然科学や生物学、コミュニケーションスキルを子どもたちが学びとる価値の高い教育現場になりえます。東京大学先端科学技術研究センター人間支援工学分野アグリケーション・ラボでは、「アグリケーション塾」を通じて、子どもの科学教育推進のほか、若者の農業に対する関心喚起、高齢者を中心とする農家のICTスキル支援を同時に進めていく予定です。

【お問合せ先】 東京大学先端科学技術研究センター 人間支援工学分野
担当：玉利、谷中 TEL：03-5452-5064 E-mail：agc@at2ed.jp